

もっと詳しく知りたい方へ…

テーマ展示「貧困の連鎖を考える」2016年1-3月  
展示図書リスト  
<http://www.nwec.jp/jp/data/page2016.1-3.pdf>

編集・発行

独立行政法人 国立女性教育会館  
女性教育情報センター  
〒355-0292  
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地  
TEL：0493-62-6195  
<http://www.nwec.jp/>

発行日 2016年3月

本文中書籍表紙画像 amazonより引用

●女性教育情報センター●

男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館です。  
どなたでもご利用できます。

<http://www.nwec.jp/jp/center/>

# 本、あり<sup>ます</sup>□。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-  
vol.6

## 貧困の連鎖を考える

貧困の連鎖で、子どもは？  
ひとり親で子どもを育てる環境は？  
女性の貧困の原因はなんだろう？





貧困の連鎖について、子どもを取り巻く状況はどうなっているのだろうか？

対策はあるのかな。

・『子どもの貧困連鎖』

保坂渉、池谷孝司著

新潮社 2015

この本は、共同通信社が2010年4月から2011年2月まで配信した長期連載を大幅に加筆・修正した上で、各章の末尾に識者インタビューを加えたものです。

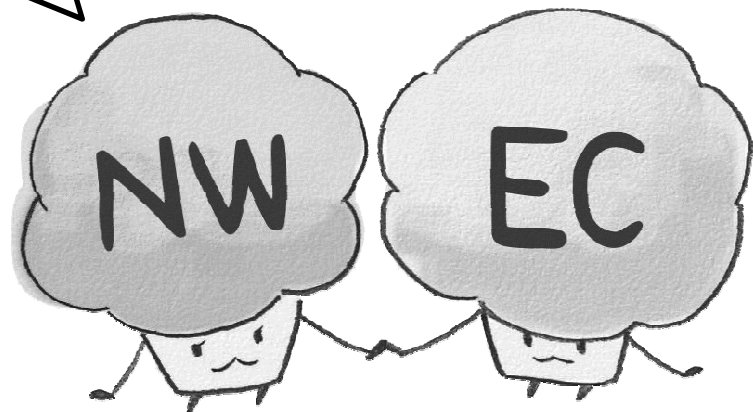
高校・中学校・小学校・保育園といった教育現場から見た子どもとその家族の貧困状況を徹底的に取材しており、実感を持って書かれています。

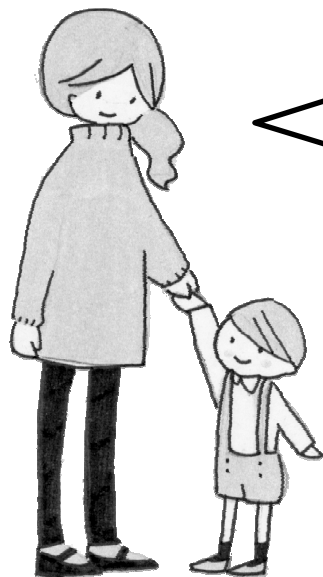
もっと詳しく知りたい方へ・・・

・『下層化する女性たち：  
労働と家庭からの排除と貧困』  
小杉礼子、宮本みち子編著  
勁草書房 2015

雇用問題として若年層が論じられる際には無意識のうちに男性が想定されていたため、隠れてしまい、かつより深刻である女性の貧困を、「労働と家族からの排除」ととらえて論じた本です。2013年、2014年に開催された若年女性の貧困に関する「労働政策フォーラム」をもとに書き下ろしています。

社会学者、哲学者、民間団体の社会活動家といった様々な執筆者が、それぞれの立場から「下層化する若年女性」にアプローチしています。





ひとり親で子どもを育てていく  
現状はどうなっているのかな？

## 『ルポ 母子家庭』

小林美希著

筑摩書房 2015

目次には「仕事と子育てに引き裂かれる」、「体ひとつで逃げ出す母子」、「マタハラ地獄」など衝撃的な言葉が並んでいます。多くの事例を元に、少しでもバランスが崩れると瞬く間に最貧困となる母子家庭の現実を知ることのできる一冊です。

そして、その中で生き、子どもを育てていくための、企業、行政、NPO等の新たな支援の取組が紹介されています。

もっと詳しく知りたい方へ・・・

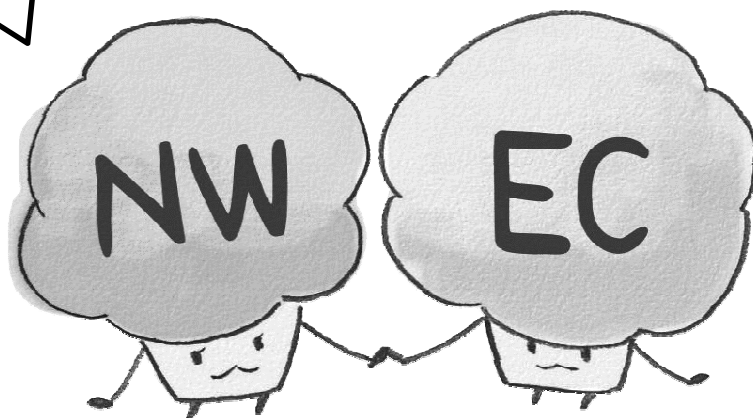
・『ひとり親家庭』

赤石千衣子著

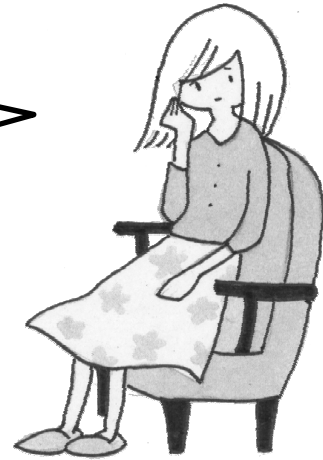
岩波書店 2014

この本は、シングルマザー、シングルファザーの現状を数々のデータや事例を用いて紹介しています。ひとり親の貧困の要因、施策の歴史、求められる支援など、幅広い視点からひとり親家庭について知ることのできる一冊です。

著者の赤石千衣子さん自身も非婚のシングルマザーであり、現在NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の理事長、反貧困ネットワーク世話人を務めています。



最近よく耳にする、女性の  
貧困は、どうして生じてい  
るのだろうか？



・『女性たちの貧困：  
”新たな連鎖”の衝撃』  
NHK「女性の貧困」取材班著  
幻冬舎 2014

これまで「貧困」とあまり結び付けて語られなかった「若年女性」の貧困を扱った本です。

安定雇用が崩壊して男性の収入のみで一家を養うことが難しくなったこと、晩婚化が進んだことなどにより、苦しい状況で自らの生計を立てなければならない女性が増えました。女性の貧困はまさに現代の問題なのです。

取材のほか、さまざまなデータから若年女性の貧困を分析した章もあり、若年女性の貧困問題を多面的に捉えています。

もっと詳しく知りたい方へ・・・

・『**貧困の中の子ども：希望って何ですか**』

下野新聞子どもの希望取材班著

ポプラ社 2015

「どうすれば子どもたちが当たり前で育つことができるのか」という問いからスタートした栃木県・下野新聞の連載を元にした本です。

県内の貧困状態にある人々やNPOなどの活動のみならず、イギリスでの子どもの貧困に対する取り組みについても書かれています。

・『**日本の大課題子どもの貧困：  
社会的養護の現場から考える**』

池上彰編

筑摩書房 2015

「家庭」で育つことができない子どもが集まる児童養護施設には、いまの日本が抱える「子どもの貧困」が集約されています。

施設の抱える問題、親との関係、学習困難といった子どもの実態を明らかにし、日本の貧困問題を考える糸口となる本です。

